

既存のソフトウェアで バックアップ機能を向上

Clouidianのハイブリッド・クラウドによる 8つのバックアップ改善方法

新たなバックアップ先：ハイブリッド・クラウド

ハイブリッド・クラウドにバックアップすることにより、高速で、信頼性が高く、低コストなプロセスが実現し、容量の制約から解放されます。
既存のソフトウェアですぐに利用可能。初期コストの負担なく開始することができます。

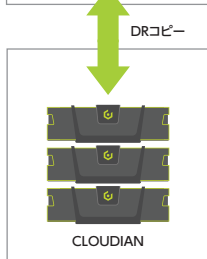
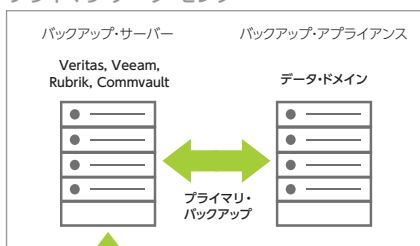
ハイブリッド・クラウドの利点

ハイブリッド・クラウドは、オンプレミスのディスクベース・ターゲットを、クラウドベースのターゲットと統合します。オンプレミス・ストレージとクラウド・ストレージは同じインタフェースを使用し、単一のストレージ・プールとして管理されます。

それぞれ以下のような機能を備えています。

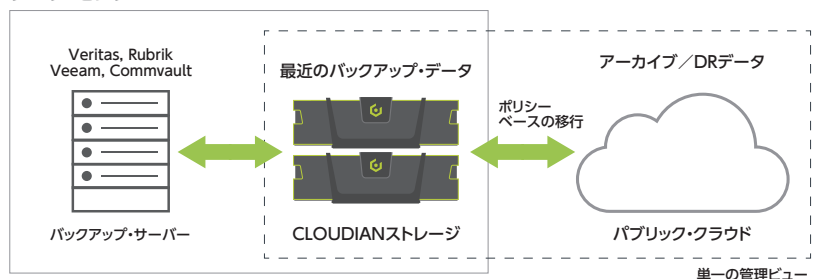
- **オンプレミス・ターゲット**：ディスクへの高速バックアップ。バックアップ時間が予測可能。高速アクセスによってRTO/RPOのSLAを達成。リモート・サイトのDRターゲットは、コストパフォーマンスの高いレプリケーションでデータを保護することができます。
- **パブリック・クラウド・ターゲット**：低コストでオフサイトのDRレポジトリとして、長期的なアーカイブや、オーバーフローに対応できる無限のスケラビリティを提供します。

プライマリ・データ・センター



DR サイト

データ・センター



既存のバックアップ・ソフトウェアと連携

バックアップ手順は、長年の改善を通して確立されています。そして、現在使用しているソフトウェアのことは熟知しているはずで、ハイブリッド・クラウド・アプローチは、現在あるプロセスを維持することで、これまでの投資と教訓をそのまま活用します。

バックアップ・ソフトウェアにとっては、ハイブリッド・クラウドはクラウド・ストレージとまったく同様です。（広く採用されているバックアップ・ソフトウェアには、Amazon S3やその他のサービスへのコネクタが提供されています。）

ハイブリッド・クラウドでは、この種のコネクタはオンプレミス・ストレージに直接接続します。その後、オンプレミス・ストレージはクラウドに接続されます。この2つは無限に拡大可能な単一のストレージ・プールとして管理されます。



Cloudianはハイブリッド・ストレージ構成におけるオンプレミスのストレージノードです。業界で最も高いS3互換性を特長としており、Veeam、Veritas、Commvault、Rubrikとの完全な互換性を担保します。

Cloudianとクラウド単独の違いは、最近実施したすべてのバックアップをローカルに保存して、必要に応じて瞬時にリカバリできる点です。その後、ポリシーベースの移行によって、スナップショットをパブリック・クラウドに移行することができます。これによってローカル容量に空きができ、DR用のオフサイト・コピーが確保できます。



詳細は、今すぐクラウドファンにお問い合わせください。

info@cloudian.com

1 非常に大規模な環境に対応できるパフォーマンス

Cloudianは容量と帯域幅の両方を拡張するスケーリング・モデルによって、ペタバイト規模に拡大します。Cloudianの高ストリーミング帯域幅により、バックアップの所要時間を予測することができます。5000 MB/s、すなわち1時間18TBの書き込みが可能です。

2 ペタバイトに拡張可能

わずか3台のノードから小規模にスタートし、ノードを追加するだけでペタバイト規模に拡張することができます。シームレスなスケーラビリティを備えており、ダウンタイムは伴いません。

3 従来のディスクに比べてコストを70%削減

業界標準のハードウェアに基づくCloudianを使用すれば、容量によっては、オンプレミス・ディスクベース・ストレージのコストを、1¢/GB/月以下に抑えることができます。

4 単一のデータ・プールを管理

Cloudianは全ノード共通で単一のプールにデータを保存します。1対多の自動レプリケーション機能によって、データの耐久性を高めます。「アクティブ」と「パッシブ」の面倒な切り替え、複雑なポリシー作成やスナップショット管理技法、どのサイトがどこにレプリケーションしているのかの記録も不要です。

5 分散アーキテクチャによるグローバルなデータ保護

エンタープライズは、リモート・オフィスでのバックアップに苦慮しています。Cloudianを使用すれば、クラスタ化されたノードをグローバルに導入して相互に接続することができます。これにより、複数サイトのデータを自動的にレプリケーションすることができます。複数のノードは単一のネームスペースを構成するため、DR目的でクラウドにポリシーベースのデータ移行を行うことができます。すべてを単一のサイトから管理し、ローカル環境を迅速に復旧させることで、グローバルなデータ保護が可能になります。

6 アプライアンスとして導入するか、各自のサーバー上で導入

Cloudianは業界標準のハードウェア上で稼働します。完全にサポートされた事前構成済みのアプライアンスを購入するか、指定したサーバーでインストールするためのソフトウェアを使用することができます。いずれの場合も、市販されているハードウェアを活用することができます。

7 ドロップインによる統合

Cloudianは、Veritas NetBackup、Veritas Backup Exec、Commvault Simpana、およびRubrikなど、クラウド・ストレージをサポートしているバックアップ・ソフトウェア・パッケージに瞬時に統合できます。バックアップとリカバリの両方は、Cloudianをクラウド・ストレージとして認識します。クラウドに移行した情報については、Cloudianがトランスペアレントにデータを検索し、メディア・サーバーに提供します。

8 初期投資なく、小規模にスタートすることができる

Cloudianに問い合わせ、すぐにスタートすることができます。Amazon MarketplaceでCloudianを使用すれば、初期投資なしでスタートできます。